

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）

中間評価報告書

1. 補助事業課題名 : AI を活用した眼科疾患診断支援システムの事業化
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 職務執行者 小澤 素生（合同会社 G-Data）
3. 中間評価結果 : 継続

<評価コメント>

日本眼科学会主導による AMED 助成事業による成果を社会実装する目的で、業界団体を中心として活動しており、機種依存性の少ないプログラム医療機器を実現できる可能性がある。眼底写真から得られる情報は多く、早期診断・早期治療につながることを期待できる製品である。

以上